



川西小だより

笑顔で『 明るく 楽しく 元気よく 』

令和6年1月9日
富田林市立川西小学校
TEL 24-3107
FAX 26-2306

★児童数配布

『 本当に素敵な川西っ子 』 校長 山下 文博

12月中旬のある朝のことです。いつものように校区を歩いていると、5~6人の児童が何やら固まって登校してくる場面に出くわしました。見守り隊の方と、どうしたのかな？何かあったのかな？などと話しながら様子を見てみると、いつもと違ってゆっくりとした歩調です。よく見てみると、3人の高学年のお姉さんになだめられているような感じで、低学年の女の子が歩いています。途中、何度も立ち止まりながら…。

ようやく見守り隊の方のところまで近づいてきました。優しく声をかけられたものの、泣きそうな表情で、固まってしまう低学年の女の子。私も声をかけましたが、立ち尽くすばかり…。高学年のお姉さんたちも、後ろから声をかけたり肩に手をのせたりと頑張ってくれています。でも、なかなか一歩が前に出ません…。目から一筋の涙も流れてしまいました。

いつもはとても元気なこの低学年の女の子。実はこの前の週、体調を崩してお休みしていたお子さん。まだ体調も万全ではない中、頑張ってお家を出てきたのでしょう。でも途中で心細くて不安になったような感じでした。

私もなだめようとはしますが、両足を突っ張ってなかなか動けない感じです。高学年のお姉さんたちが優しく「水筒持ってあげるね。」「ランドセルも持とうか？」と。突っ張った足が緩み、少し表情も和らぎました。手に持った水筒を一人のお姉さんに渡しました。そして、すっと伸びてきたお姉さんの手。水筒を持っていた手がお姉さんの手と重なりました。もう一人のお姉さんがそっと背中を押してくれました。その後、何度か立ち止まる場面もありましたが、お姉さんたちに支えられながら校門をくぐることができました。

自分たちも早く学校に行きたいし、いろんな話もしたいはずですが。でも登校中、困っている子がいれば、まずはその子のことを考え、その子の立場に立った行動ができた高学年のお姉さんたち。見ていると本当に嬉しかったのは言うまでもありません。見守り隊の方からも、「ほんとうに、いい子たちですねえ〜。」との声が漏れていました。このような素敵な行動ができる川西小の子どもたち。この低学年の女の子も、この日の経験があることで、後々同じような場面に遭遇した際、この高学年のお姉さんたちのように行動してくれることでしょう。川西小学校で、こんないい循環が繋がっていくことを期待しています。

さて児童の皆さん、年末にお話しした、この冬休み、何かにチャレンジすることができましたか？今日から三学期、また新たなことにチャレンジしてみてください。

後になりましたが、保護者、地域の皆様、明けましておめでとうございます。三学期はあっという間ですが、よろしく願いいたします。

最後に能登半島地震で被災された皆様、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心より願っております。